

# 広島和牛 1000年の歴史

Hiroshima Wagyu: 1,000 Years of History

広島県では、天曆5年(951年)には日本三大市場の「杭の庄(三原市)」で牛の取引が行われていたと伝えられており、牛は古くから暮らしに息づいていました。

平成23年にユネスコ無形文化遺産に登録された豊穡祈願の行事「壬生(みぶ)の花田植(北広島町)」など、今もなお伝統として受け継がれています。



花田植に参加する牛たちは、豪華な花鞍を更に造花で飾り、太鼓や笛の音に合わせて着飾った早乙女達が苗を植える様子はとても華やかです。

1000年に渡り続いた杭の庄では、最盛期には、1万頭以上の牛馬が集まり賑わいをみせました。

## 3. 「横利系」始祖牛の誕生

神石郡は古くから種雄牛育成や子牛生産が盛んに行われており、江戸時代には「竹屋牛」、明治初期には「有本蔓」といった蔓が存在しました。大正11年に神石郡で誕生した「豊萬」は、比婆郡の「八幡」とともに、昭和2年に挙行された大正天皇の御大葬の儀において、轎車牽引牛として栄誉を担いました。



昭和29年には、「豊萬」の6代孫に「第2横利」が誕生し、現在の「横利系」の祖となりました。横利系は、雌系としても多くの功績を残し、岩田系種雄牛との交配によって、「第31青滝」「第3神竜の4」を作しました。



**横利系の美点**  
 発育良好、体積に富み、肋腹良、資質ことに毛質と皮膚も概ね可、肉質概して良

## 1. あづま蔓の誕生

天保年間に比和町で日本最古の蔓(つる)のひとつである「岩倉蔓」が、明治年間には帝釈村の「有実蔓」が造成され、名声を博しました。これらの蔓の雄系を辿ると「第10野田屋」という種雄牛に帰一することが分かりました。昭和23年には、あづま蔓牛組合が結成され、雄系には「第10野田屋」、雌系には「岩倉蔓」と「有実蔓」の遺伝子を有し、その共通美点を持つ「あづま蔓」を造成し、昭和27年に新蔓に認定されました。

**あづま蔓の特徴**

1. 皮膚、被毛の状態よろしく、角の形質良好
2. 肋張りよろしく、体積(体深)に富む
3. 四肢よく締り、蹄強固
4. 体の緊りよろしく、品位にとむ
5. 乳微良好

## 2. 「深川系」始祖牛の誕生

「あづま蔓」の種雄牛である「第21深川」(昭和18年生)は、深川系の始祖として、「第40岩田」や「第5桑垣内」など多くの優良種雄牛を産出しました。「第21深川」は、昭和28年に広島市で開催された第1回全国和牛共進会に出品され、名誉総裁賞を受賞しました。



## 4. 「38岩田系」始祖牛の誕生

昭和23年、比和町で「38岩田系」の始祖となる「第38の1岩田」が誕生しました。孫牛の「柿乃木」は、のちに神石地域での改良にも貢献しました。現在、「38岩田系」は、国において希少系統のひとつに認定されており、和牛の遺伝的多様性の確保のために重要な役割を担っています。



**38岩田系の美点**  
 尻の形状、均称、肋腹、背線、発育良好



昭和46年、「柿乃木」を「第2横利」の娘牛に交配し、「第31青滝」が誕生しました。昭和55年には「第31青滝」を第2横利系の雌牛と交配して「第3神竜の4」を造成しました。「第3神竜の4」は、資質、体伸、背幅、肢蹄に優れ、昭和57年に福島県で開催された第4回全国和牛能力共進会(全共)の若雄3区で優等賞首席に輝きました。さらに、平成4年に大分県で開催された第6回全共の肉牛の部では金賞を受賞し、種牛能力・産肉能力の両面で高い評価を受け、県内全域で活躍しました。

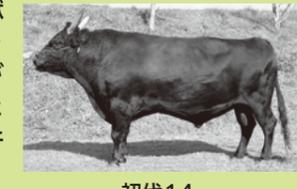
## 5. 県外系統との系統間交配による改良

昭和30年代には、主にあづま蔓の資質の改善を目的として、兵庫県「あつた蔓」との系統間交配を進めました。昭和40年代に導入した「田安土井」から「第43岩田の10」、「茂金波」から「乙社6」「第43岩田の14」の造成に成功しました。また、これらの種雄牛を交互に交配し、「神桜の10」「9中丸」といった種雄牛が誕生しました。



## 6. 広島県内育種圏の統一による改良

昭和53年に、比婆系の「乙社6」と神石系の「柿乃木」の娘牛との系統間交配により「初代14」が誕生し、種牛性と産肉能力両面の改良に貢献しました。昭和61年、比婆・神石・双三・高田の育種圏が統一され、比婆系と神石系との系統間交配による種雄牛造成が始まりました。



## 8. 広島血統再構築の取組み

産肉能力の改良が大きく進んだ一方で、広島血統の持つ特色や遺伝子が次第に失われていくという課題が生まれました。県は、平成25年に広島血統和牛承認制度を策定して、県産和牛のブランド力の強化に取組むとともに、「第3神竜の4」を活用して長らく休止していた38岩田系の種雄牛造成を再開しました。また、平成27年には茂金系(広島波系)として「9中丸」、令和2年には神石高原町和牛改良組合と連携し、横利系の始祖牛「第2横利」を活用した種雄牛造成の取組みを開始しました。



本取組で造成した「烏帽子」の孫牛である「仁義烏(じんよしぐろ)」を令和4年に鹿児島県で開催された第12回全共第1区若雄の区に出品し、全国に広島血統再構築の取組みをPRしました。



## 7. 産肉能力の改良に向けた取組み

平成3年に、牛肉の輸入自由化が始まり、全国で和牛肉の特徴である肉質(脂肪交雑)を重視した改良が進みました。広島県では、同年に全国に先駆けて育種価評価を導入し、産肉能力の効率的な改良を図りました。その中で、県有種雄牛の産肉能力を飛躍的に改良するために、県外の優秀種雄牛(「平茂勝」「茂波」「安平照」など)を活用した種雄牛造成に取組みました。その結果、気高系の「勝白」、茂金系の「沖茂金波」、田尻系の「田安照」が誕生しました。

平成19年には、一卵性多産子(受精卵クローン)によるクローン検定を開始し、世代間隔の短縮による改良速度の向上を図りました。平成24年に、全国で初めてクローン検定により、「勝白」の後継牛である「紅勝白」を選抜しました。また、平成30年にはゲノム育種価の活用を開始し、さらなる改良速度の向上に取組んでいます。



## 9. 「脂肪の質」の追求

平成30年には、多様化する消費者の需要に対応するため、脂肪の口溶けに影響する「脂肪の質」の改良に取組むこととしました。「脂肪の質」の評価指標のひとつである一価不飽和脂肪酸(MUFA(エムユーエフイー))の育種価評価体制を整備し、MUFA能力が優れた種雄牛の造成を開始しました。令和4年に開催された第12回全共において新設された肉牛区の「脂肪の質評価群」に「芳乃照」産子を出品し、MUFA値の高さが評価され、第3席に輝きました。



## 10. 広島和牛の新たな価値創造

現在、さらなるブランド力強化にむけて、広島血統とおいしさの関連性について調査を進め、広島和牛の新たな魅力の創出に取組んでいます。この成果を活かして、今後、広島和牛の未来を担う次世代種雄牛の造成に繋げていきます。



花勝百合

# 本誌の見方

## ① 遺伝的能力評価(育種価とゲノム育種価)

**種類と特徴** 各遺伝的能力評価の特徴を下図にまとめました。本誌では、育種価とゲノム育種価を掲載しています。

評価方法	期待育種価	ゲノム育種価	育種価
特徴	 $(父 + 母) \div 2$ ● 両親の育種価の平均値で表します。 ● 交配前からその産子の能力の目安が予測できます。	 <b>A判定</b> ● 血液や毛根などから抽出したDNA情報から評価します。 ● 育種価が判明していない若雄や若雌(0~約5歳)の評価に有効です。	 ● 親から子に伝わる遺伝的能力を数値化したものです。 ● その牛の血統情報や産子の成績から算出されます。
評価時期	早い 交配時から	生後すぐから	遅い 5~6歳から
正確度	低い		高い

### 遺伝的能力の表示について

#### [標準化育種価]

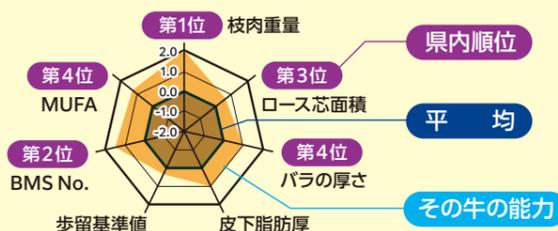
● 育種価を持つ広島県内供用中雌牛の平均と比較して、種雄牛の各形質がどれくらいの能力であるか、相対的な位置づけをレーダーチャートで表示しています。

#### [標準化ゲノム育種価]

- 育種価が判明していない待機種雄牛について、「ゲノム育種価」を掲載しています。
- 本県のゲノム育種価は、(独)家畜改良センターとの共同研究により、全国の肥育牛群の情報を用いて算出しています。なお、算出のためのSNP解析の一部は(公社)畜産技術協会主体のJRA畜産振興事業により実施しています。
- 直近10年間の県内牛群(平成28~令和7年)の中での相対的な位置づけや、個体の特徴をより分かりやすくするために、標準化した数値をレーダーチャートで表示しています。
- 他の評価値(育種価や(一社)家畜改良事業団等のゲノミック評価)との直接比較はできませんのでご注意ください。

#### [レーダーチャートの見方]

- 枝肉6形質及びMUFAについて、その牛の能力値をグラフで示しています。
- 皮下脂肪厚は、数値が大きいほど薄く、小さいほど厚いことを示しており、数値が大きい方が好ましくなります。
- 基幹種雄牛は標準化育種価、待機種雄牛は標準化ゲノム育種価における県内順位を第1~5位まで表示しています。  
※対象範囲:広島県有種雄牛のうち、過去15年間(平成23年~令和7年)で選抜された基幹種雄牛及び待機種雄牛



## ② おいしさに関する枝肉形質:MUFA(エムユーエフイー)

MUFAとは、一価不飽和脂肪酸(MonoUnsaturated Fatty Acid)の略称です。**MUFAの割合が高い脂肪**は、融点が低く、体温以下でも溶けるため、**口溶けが良い**とされています。

広島県では、平成30年に食肉脂質測定装置によるMUFA測定体制を構築し、平成31年から育種価評価を開始しました。また、枝肉のセリ会において、測定したMUFA値を公表し、広島和牛の価値向上に向けて取り組んでいます。



## ③ 遺伝子型検査結果(遺伝病)について

広島県有種雄牛は下記の遺伝子型検査を実施しています。「骨格粗大症[SD]」以外の遺伝的形質について、現在繋養中の種雄牛に保因牛はいません。「骨格粗大症[SD]」については、保因牛の場合のみ、各種雄牛の紹介ページの審査得点の右横に記載しています。

牛バンド3欠損症[B3]、牛第13因子欠損症[F13]、牛クローディン16欠損症[CL16]、IARS異常症[IARS]、牛シェデアックヒガシ症候群[CHS1]、前肢帯筋異常症[FMA]、牛モリブデン補酵素欠損症[MCSU]、眼球形成異常症[MOD]、パーター症候群1型[BAS1]、メラニン細胞刺激ホルモン受容体遺伝子型[MSHR]、骨格粗大症[SD]



▲「骨格粗大症[SD]」についての詳細はこちら

# 基幹種雄牛

## かつ やま ざくら 勝山桜

黒原6403 83.7点 SD+

- ◆ 生年月日: 令和元年8月6日
- ◆ 繁殖者: (有)野山牧場(東広島市安芸津町)
- ◆ 生産者: 県立畜産技術センター(庄原市七塚町)
- ◆ 体高: 147.4cm(19ヵ月)



気高系

### プロフィール

肉質能力に優れた「のやま8046」と増体能力に優れた「勝白福」との交配で造成しました。父母の両方から広島県の名牛「勝白」の流れを受け継いだ待望の「勝白」直系種雄牛です。本牛は、伸び、深み、資質に優れており、産子も同様に伸び、資質が良いものも多く、また調査した産子の半数が発育ランクA+以上と、発育良好でした。枝肉成績は特に雌牛において、BMSとロース芯面積、皮下脂肪厚や歩留基準値が好成绩であり、育種価も高い評価値となりました。広島県の看板種雄牛「花勝百合」や県内で多く保留されている「福之姫」母体にも交配可能な血統構成となっています。本牛は骨格粗大症[SD]遺伝子を保因していますので、交配の際はご注意ください。

### 勝白福

黒原5511(84.0)  
(広島・庄原)

### 勝白

黒原3849(85.2)  
(広島・庄原)

### 平茂勝

黒原2441(89.0)  
(鹿児島・薩摩)

### 第20平茂

ふくみ

9中丸

かみしら5

第20平茂

ふくみ

美津福

なかふじ1

### きのした

黒原1288289(86.1)  
(広島・庄原)

### 平茂勝

黒原2441(89.0)  
(鹿児島・薩摩)

### みつこ

黒原1161165(83.3)  
(広島・庄原)

### のやま8046

黒2478398(82.4)  
(広島・東広)

### 美国桜

黒原5204(84.0)  
(栃木・那須)

### 第1花園

黒12510(82.8)  
(青森・つが)

### もとみつ

黒原1280419(81.7)  
(栃木・那須)

### ひらさくら

黒2342421(81.8)  
(広島・安芸)

### 勝白

黒原3849(85.2)  
(広島・庄原)

### さき

黒原1309029(84.6)  
(宮崎・小林)

### 北国7の8

あおはな

美津福

もとじろう

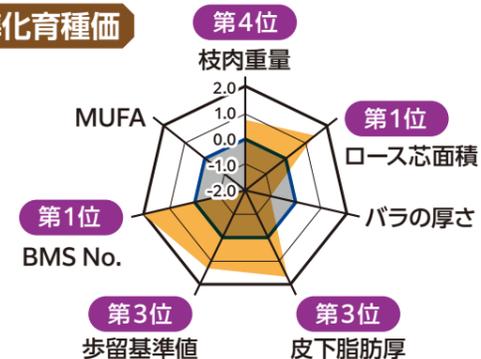
### 平茂勝

かみしら57

安平

きらり

### 標準化育種価



### 現場枝肉成績 ※( )内はMUFA測定値がある頭数

	頭数 ※	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm)	パラの厚さ(cm)	皮下脂肪厚(cm)	推定歩留(%)	BMS No.	MUFA(%)	上物率(%)
去勢	8(4)	27.8	516	62	7.7	2.4	74.0	7.8	50.1	100
雌	6(2)	28.9	462	78	7.7	2.0	77.0	10.3	52.5	100
全体	14(6)	28.3	493	69	7.7	2.3	75.3	8.9	50.9	100



光福久×勝忠平 性別:去勢 月齢:28ヶ月

- 枝肉重量: 519kg
- ロース芯面積: 96cm<sup>2</sup>
- パラの厚さ: 8.2cm
- 皮下脂肪厚: 2.1cm
- 歩留基準値: 79.0%
- BMS No.: 12
- 格付: A5
- M U F A: 47.1%



幸紀雄×沖茂金波 性別:雌 月齢:27ヶ月

- 枝肉重量: 420kg
- ロース芯面積: 86cm<sup>2</sup>
- パラの厚さ: 7.5cm
- 皮下脂肪厚: 2.2cm
- 歩留基準値: 78.3%
- BMS No.: 12
- 格付: A5
- M U F A: 50.4%

# はな かつ ゆり 花勝百合

黒15316 83.4点

- ◆生年月日:平成27年11月17日
- ◆繁殖者:渡邊 英治氏(神石郡神石高原町)
- ◆生産者:県立畜産技術センター(庄原市七塚町)
- ◆体高:141.4cm(20ヵ月)



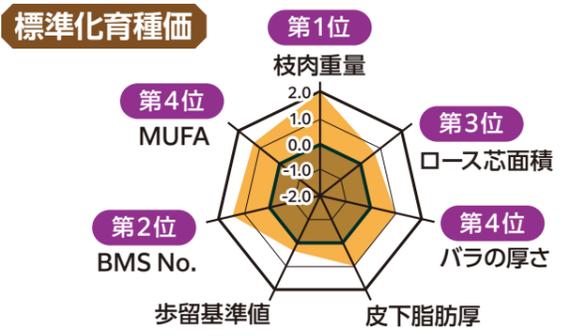
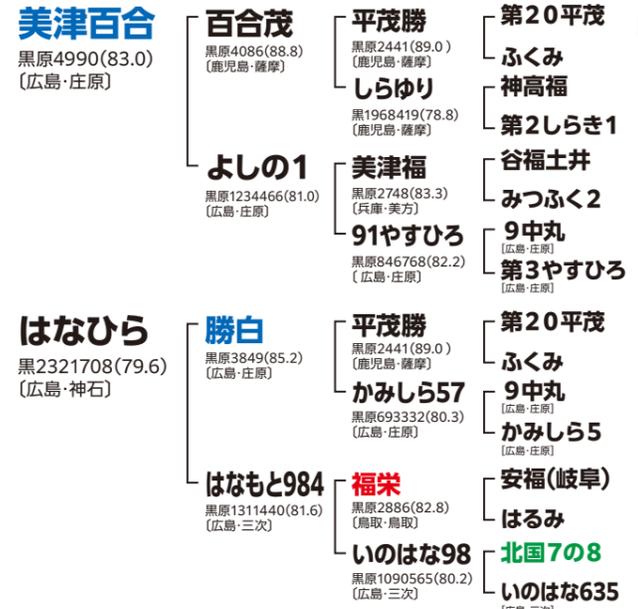
気高系

プロフィール

(一社)家畜改良事業団の「美津百合」が持つBMS能力と広島県の和牛改良に大きく貢献した「勝白」の枝肉重量能力を受け継いだ本県を代表する質兼備の基幹種雄牛です。令和3年度広域後代検定※1において、14道県35種雄牛の中でBMS及び日齢枝肉重量で堂々1位の評価を受けました。現場後代検定終了後も安定して良好な枝肉成績が続いています。幅広い系統の雌との交配で良好な枝肉成績が出ており、枝肉重量(去勢)では主要4系統※2において平均500kg以上の成績が得られています。

子牛市場での産子調査では、上場牛の平均日齢増体重量が1.0kg以上であり、子牛の発育も良好であることが確認されています。また、母体の保留も進んでおり、全共・県共の種牛の部で優秀な成績が出ています。子牛市場でも「花勝百合」母体産子の平均日齢増体重量が1.0kg以上であり、発育良好です。体型面では発育、幅、深み、伸びといった体積の改良が期待できます。産子はやや大きい傾向にあるため、経産牛への交配を推奨します。種牛性と産肉能力の高さから、第13回全国和牛能力共進会第6区(総合評価群)・第8区(去勢肥育牛)の出品対象種雄牛に選ばれました。

※1 広域後代検定:県域を越えた広範囲で国が実施する能力評価事業 ※2 主要4系統:気高、藤良、田尻、茂金



一般出荷枝肉成績 (広島食肉市場R7.8月まで) ※( )内はMUFA測定値がある頭数

	頭数※	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm <sup>2</sup> )	バラの厚さ(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留基準値(%)	BMS No.	MUFA(%)
去勢	446 (215)	27.2	519	67	8.1	2.2	75.1	8.8	57.0
雌	366 (180)	27.8	465	65	7.8	2.6	74.9	8.3	59.0
全体	812 (395)	27.5	494	66	8.0	2.4	75.0	8.6	57.9

産子の子牛市場成績 [花勝百合]母体産子の子牛市場成績

	頭数	日齢	体重(kg)	DG(kg/日)	頭数	日齢	体重(kg)	DG(kg/日)
去勢	452	278	312	1.13	12	287	298	1.05
雌	367	284	282	1.00	8	290	284	0.98
全体	819	280	298	1.07	20	288	293	1.02

令和5年広島県畜産共進会 成牛の部 優秀賞首席



【名号】しげなが5の8 【得点】88.2点  
【血統】花勝百合×安福久×北二

第12回全国和牛能力共進会 第2区 優秀賞



【名号】たかふくゆり 【得点】88.5点  
【血統】花勝百合×勝白×宮島

産子の体型的美点

令和4年度和牛育種現地検討会において、花勝百合産子の共通美点を以下のとおり確認しました。「斉一性高く、発育、深み、幅、伸び、体上線の強さ、乳微の良さに優れている」

第100回広島県畜産共進会(冬季) 最優秀MUFA賞



諒太郎×美津百合 性別:雌 月齢:29ヶ月  
 ■枝肉重量:483kg ■ロース芯面積:88cm<sup>2</sup> ■バラの厚さ:8.4cm  
 ■皮下脂肪厚:2.9cm ■歩留基準値:77.8% ■BMS No.:12  
 ■格付:A5 ■M U F A:62.6%



美津照重×美国桜 性別:去勢 月齢:23ヶ月  
 ■枝肉重量:573kg ■ロース芯面積:111cm<sup>2</sup> ■バラの厚さ:9.2cm  
 ■皮下脂肪厚:1.2cm ■歩留基準値:81.7% ■BMS No.:12  
 ■格付:A5 ■M U F A:53.4%



百合茂×平茂勝 性別:去勢 月齢:27ヶ月  
 ■枝肉重量:534kg ■ロース芯面積:94cm<sup>2</sup> ■バラの厚さ:9.6cm  
 ■皮下脂肪厚:2.4cm ■歩留基準値:79.2% ■BMS No.:12  
 ■格付:A5 ■M U F A:60.1%



福華1×美津照 性別:去勢 月齢:28ヶ月  
 ■枝肉重量:597kg ■ロース芯面積:84cm<sup>2</sup> ■バラの厚さ:8.0cm  
 ■皮下脂肪厚:1.6cm ■歩留基準値:76.7% ■BMS No.:12  
 ■格付:A5 ■M U F A:54.7%



田安照×福安照 性別:去勢 月齢:30ヶ月  
 ■枝肉重量:605kg ■ロース芯面積:85cm<sup>2</sup> ■バラの厚さ:8.1cm  
 ■皮下脂肪厚:1.7cm ■歩留基準値:76.9% ■BMS No.:12  
 ■格付:A5 ■M U F A:52.6%



隆之国×茂重安福(岐阜) 性別:去勢 月齢:27ヶ月  
 ■枝肉重量:522kg ■ロース芯面積:73cm<sup>2</sup> ■バラの厚さ:9.1cm  
 ■皮下脂肪厚:1.5cm ■歩留基準値:77.1% ■BMS No.:10  
 ■格付:A5 ■M U F A:62.1%

# べにかみてる 紅神照

黒原6238 85.0点

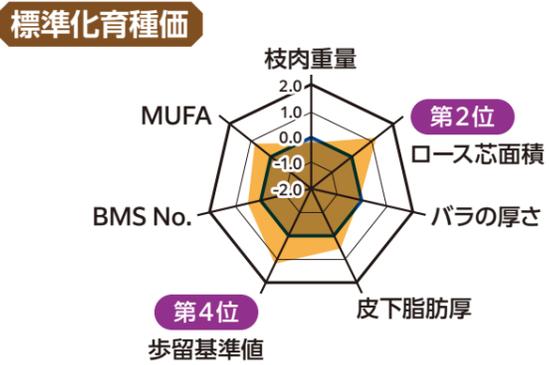
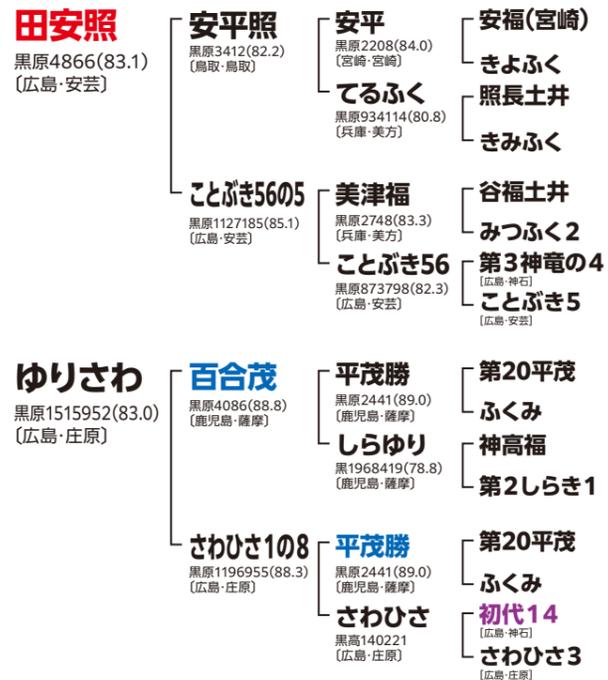
- ◆生年月日:平成28年10月1日
- ◆繁殖者:県立畜産技術センター(庄原市七塚町)
- ◆体高:149.0cm(28ヵ月)



田尻系

プロフィール

本牛の母「ゆりさわ」は、供卵牛として県内の改良に貢献し枝肉重量育種価県内1位の「さわひさ1の8」を母に持つ、増体能力に優れた繁殖雌牛です。本牛の全兄弟牛も枝肉重量566kg、BMSNo.12の好成績を残しています。現場後代検定成績において、上物率100%と安定した成績で、特にロース芯面積は73cm<sup>2</sup>と際立った成績を残しました。県有基幹種雄牛の県内育種価において、ロース芯面積第2位、歩留基準値第4位という優れた能力を示しています。幅広い系統の雌に交配することができ、田尻系との交配でも良好な枝肉重量が得られています。本牛は第13回全国和牛能力共進会第7区(脂肪の質評価群)の出品対象種雄牛です。



**現場枝肉成績** ※( )内はMUFA測定値がある頭数

	頭数	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm <sup>2</sup> )	バラの厚さ(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留基準値(%)	BMS No.	MUFA(%)	上物率(%)
去勢	6(5)	25.6	460	68	7.3	1.8	75.8	8.5	54.0	100
雌	15(10)	28.1	472	73	8.2	3.1	75.8	8.1	59.9	100
全体	21(15)	27.4	468	72	7.9	2.7	75.8	8.2	58.0	100



**調査牛**

美津照重×平茂勝 性別:雌 月齢:28ヶ月

- 枝肉重量:505kg
- ロース芯面積:79cm<sup>2</sup>
- バラの厚さ:9.2cm
- 皮下脂肪厚:2.7cm
- 歩留基準値:77.1%
- BMS No.:10
- 格付:A5
- M U F A:57.3%



**調査牛**

美津照重×百合茂 性別:雌 月齢:29ヶ月

- 枝肉重量:453kg
- ロース芯面積:83cm<sup>2</sup>
- バラの厚さ:8.0cm
- 皮下脂肪厚:3.1cm
- 歩留基準値:77.0%
- BMS No.:9
- 格付:A5
- M U F A:61.1%

# のむらたつ 野村玄

黒原6316 84.0点

- ◆生年月日:平成29年9月16日
- ◆繁殖者:立川 和幸氏(庄原市東城町)
- ◆体高:145.0cm(29ヵ月)



田尻系

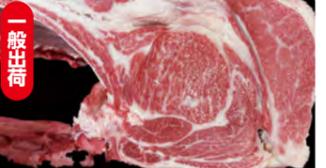


**プロフィール**

本牛は、体積に富んだ体型を有し、産子の枝肉成績は、系統によらずBMSおよび枝肉重量において良好な成績を収めています。さらにMUFAも基幹種雄牛内で2位と優れています。

**現場枝肉成績** ※( )内はMUFA測定値がある頭数

	頭数	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm <sup>2</sup> )	バラの厚さ(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留基準値(%)	BMS No.	MUFA(%)	上物率(%)
去勢	8(6)	28.4	504	70	7.4	2.2	75.2	9.5	58.9	100
雌	15(7)	27.9	415	63	7.2	2.7	74.8	8.2	60.3	100
全体	23(13)	28.1	446	65	7.3	2.5	74.9	8.7	59.7	100



**安福久×勝忠平 性別:去勢 月齢:30ヶ月**

- 枝肉重量:606kg
- ロース芯面積:105cm<sup>2</sup>
- バラの厚さ:8.4cm
- 歩留基準値:79.3%
- BMS No.:12
- 格付:A5
- M U F A:60.5%

**徳悠翔×安福165の9 性別:雌 月齢:26ヶ月**

- 枝肉重量:449kg
- ロース芯面積:74cm<sup>2</sup>
- バラの厚さ:7.5cm
- 歩留基準値:76.8%
- BMS No.:10
- 格付:A5
- M U F A:61.0%

# ふくかじおおしば 福根大柴

黒原6160 85.8点

- ◆生年月日:平成28年1月6日
- ◆繁殖者:大野 逸夫氏(安芸高田市美土里町)
- ◆生産者:県立畜産技術センター(庄原市七塚町)
- ◆体高:146.6cm(26ヵ月)



茂金系



**プロフィール**

第10回全共若雄の区で4位入賞に輝いた「3柴沖茂」と県共上位入賞の実績を誇る「ふくかじかわ7」との交配により造成しました。発育良好で、体幅・体伸に優れた、体積感溢れる種雄牛で、産肉能力では優れたMUFA能力を有しています。

**現場枝肉成績** ※( )内はMUFA測定値がある頭数

	頭数	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm <sup>2</sup> )	バラの厚さ(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留基準値(%)	BMS No.	MUFA(%)	上物率(%)
去勢	12(8)	27.6	485	63	8.1	2.9	74.3	7.8	58.5	92
雌	7(4)	27.2	456	64	7.8	3.2	74.4	8.0	61.8	100
全体	19(12)	27.5	474	63	8.0	3.0	74.3	7.9	59.6	95

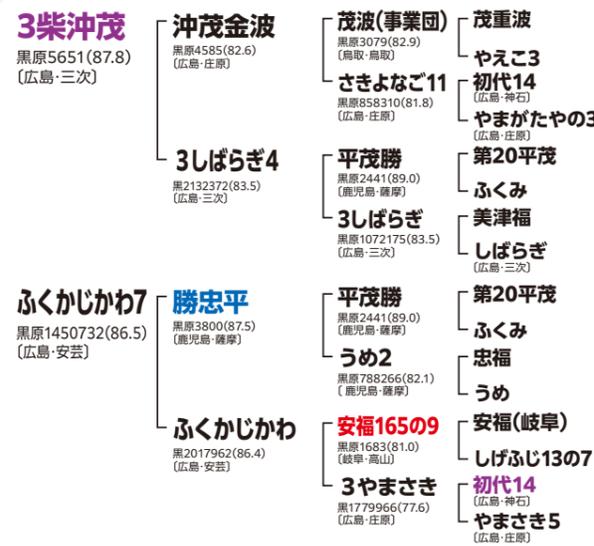


**田安照×沖茂金波 性別:雌 月齢:26ヶ月**

- 枝肉重量:371kg
- ロース芯面積:70cm<sup>2</sup>
- バラの厚さ:8.3cm
- 歩留基準値:77.7%
- BMS No.:11
- 格付:A5
- M U F A:60.5%

**烏帽子×安福久 性別:去勢 月齢:29ヶ月**

- 枝肉重量:445kg
- ロース芯面積:64cm<sup>2</sup>
- バラの厚さ:7.0cm
- 歩留基準値:74.7%
- BMS No.:10
- 格付:A5

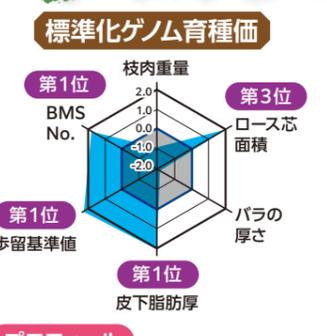




# 芳福照



**田尻系**  
**黒原6559 83.2点**  
 ◆生年月日:令和3年7月19日  
 ◆繁殖者:県立畜産技術センター (庄原市七塚町)  
 ◆生産者:豊田 耕三氏 (神石郡神石高原町)  
 ◆体高:139.4cm(21ヵ月)



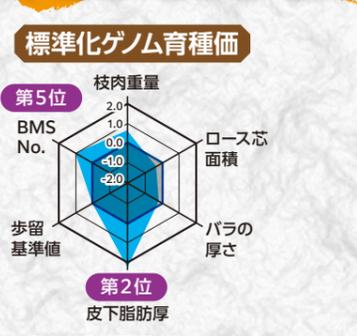
**プロフィール**  
 広島県でトップクラスの肉質能力を持つ「芳乃照」の後継種雄牛です。血統構成は、田尻系の割合が高く、気高系種雄牛を含まないことが特徴です。ゲノム育種価では、脂肪交雑や歩留に関する形質について高能力が期待できます。体型では、特に伸び、腿が美点として評価されています。

- 芳乃照** 黒原5786(82.3) [広島・庄原]
- 田安照** 黒原4866(83.1) [広島・安芸]
- 安平照** 黒原3412(82.2) [鳥取・鳥取]
- 安平** てるふく 美津福 ことぶき56 谷福土井 みつふく2
- よしの1** 黒高208008 [広島・庄原]
- 美津福** 黒原2748(83.3) [兵庫・美方]
- 91やすひろ** 黒原946768(82.2) [広島・庄原]
- 9中丸** 黒原946768(82.2) [広島・庄原]
- 第3やすひろ** 黒原946768(82.2) [広島・庄原]
- 安福久** 黒原4416(85.5) [栃木・那須]
- 安福165の9** 黒原1683(81.0) [岐阜・高山]
- 安福(岐阜)** しげふじ13の7 紋次郎 もとひかり 第7糸桜 きたぐに7 美津福 つつみ3
- きたみつふく** 黒原1174025(84.6) [広島・神石]
- 北国7の8** 黒原1530(86.7) [島根・大田]
- はなみつふく** 黒原1082582(85.6) [広島・神石]

# 花金百合



**気高系**  
**黒原6628 83.4点**  
 ◆生年月日:令和4年8月2日  
 ◆繁殖者:広島系統牛保存センター (神石郡神石高原町)  
 ◆生産者:井上 和之氏 (広島市安佐北区白木町)  
 ◆体高:143.4cm(18ヵ月)



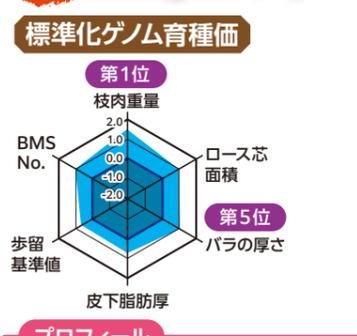
**プロフィール**  
 「花勝百合」と、大型の種雄牛である「諒太郎」を父に持つ「かねすず5」を交配して造成された種雄牛です。直接検定成績では、発育増体が良好であり、体型は伸び、前駆の深みに優れています。深みがあり、体上線が平直で、資質に優れた産子が多くみられています。

- 花勝百合** 黒15316(83.4) [広島・庄原]
- 美津百合** 黒原4990(83.0) [広島・庄原]
- 百合茂** 黒原4086(88.8) [鹿児島・薩摩]
- 平茂勝** しらゆり 美津福 91やすひろ 平茂勝 かしら57 福栄 いのはな98
- よしの1** 黒高208008 [広島・庄原]
- 勝白** 黒原3849(85.2) [広島・庄原]
- はなもと984** 黒原1311440(81.6) [広島・三次]
- 諒太郎** 黒原5605(87.0) [鹿児島・指宿]
- 勝忠平** 黒原3800(87.5) [鹿児島・薩摩]
- なつえ75** 黒原1306268(82.6) [鹿児島・薩摩]
- かねすず5** 黒原1700837(81.4) [広島・神石]
- 金安平** 黒13469(82.8) [岐阜・高山]
- なかふくくるみ** 黒2166007(83.7) [広島・三次]
- かねこ3** 黒原1465858(81.0) [広島・神石]
- 金幸** やすしげ 糸福(鹿児島) くるみ

# 花峰勝



**気高系**  
**黒原6627 83.3点**  
 ◆生年月日:令和4年8月22日  
 ◆繁殖者:(株)のば牧場 (三次市布野町)  
 ◆生産者:県立畜産技術センター (庄原市七塚町)  
 ◆体高:138.8cm(18ヵ月)



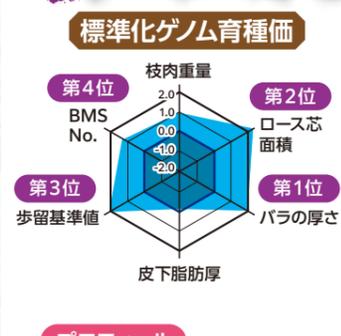
**プロフィール**  
 「花勝百合」と、(一社)家畜改良事業団で選抜された「峰勝姫」の母牛「みねかつ02」を掛け合わせて造成された、高い産肉能力が期待される種雄牛です。また、全兄妹牛が枝肉重量493kg、ロース76cm、BMS12と好成績を残しています。伸び・幅に富み、資質に優れた産子が多くみられています。

- 花勝百合** 黒15316(83.4) [広島・庄原]
- 美津百合** 黒原4990(83.0) [広島・庄原]
- 百合茂** 黒原4086(88.8) [鹿児島・薩摩]
- 平茂勝** しらゆり 美津福 91やすひろ 平茂勝 かしら57 福栄 いのはな98
- よしの1** 黒高208008 [広島・庄原]
- 勝白** 黒原3849(85.2) [広島・庄原]
- はなもと984** 黒原1311440(81.6) [広島・三次]
- みねかつ02** 黒原1652363(82.7) [広島・三次]
- 勝忠平** 黒原3800(87.5) [鹿児島・薩摩]
- うめ2** 黒原788266(82.1) [鹿児島・薩摩]
- みねやすひさ** 黒2306780(84.1) [広島・庄原]
- 安福久** 黒原4416(85.5) [栃木・那須]
- みねきたじん** 黒2138355(83.8) [広島・庄原]
- 安福165の9** もとじろう 北仁 みつもり

# 神石波



**茂金系**  
**黒原6698 84.6点**  
 ◆生年月日:令和5年7月26日  
 ◆繁殖者:(株)久井牧場 (三原市久井町)  
 ◆生産者:合同会社 神龍ファーム (神石郡神石高原町)  
 ◆体高:142.8cm(19ヵ月)



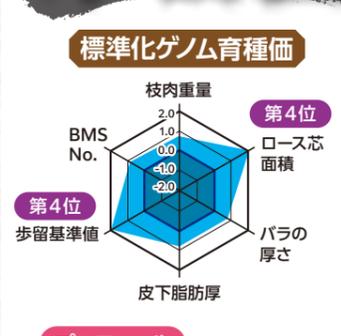
**プロフィール**  
 ゲノム育種価で優れた能力を持つ「おく2965」を活用して造成した種雄牛です。本牛のゲノム育種価では、特に茂金系の特徴であるロース芯面積や歩留基準値が高能力を示しています。体型については、伸び、深み、資質を美点として備えています。

- 沖茂金波** 黒原4585(82.6) [広島・庄原]
- 茂波(事業団)** 黒原3079(82.9) [鳥取・鳥取]
- 茂重波** 黒高634(80.3) [兵庫・美方]
- 茂金波** しげみつ 菊照土井 しげひめ
- やえこ3** 黒原809358(81.4) [兵庫・美方]
- 初代14** 黒原156(84.0) [広島・神石]
- 乙社6** 黒原13354(80.5) [広島・庄原]
- 第43岩田の14** 黒原13354(80.5) [広島・庄原]
- 第53やまがたや** 黒原13354(80.5) [広島・庄原]
- 第1花園** 黒14203(80.0) [青森・つが]
- よしえ** 勝忠平 勝忠平 勝忠平
- おく2965** 黒2686489(84.0) [広島・三原]
- 福之姫** 黒原5689(82.7) [栃木・大田]
- 芳之国** 黒14203(80.0) [青森・つが]
- 美津照重** 黒高2050(83.3) [宮崎・小林]
- おくむら7616** 黒2495986(83.0) [広島・三原]
- 美津照重** 黒高2050(83.3) [宮崎・小林]
- みねやすひさの2** 黒2408333(82.5) [広島・三次]
- 美津照重** 黒高2050(83.3) [宮崎・小林]
- みねやすひさ** 黒2408333(82.5) [広島・三次]

# 沖福宝



**茂金系**  
**黒16167 84.8点**  
 ◆生年月日:令和5年8月1日  
 ◆繁殖者:渡邊 敬介氏 (神石郡神石高原町)  
 ◆生産者:豊田 耕三氏 (神石郡神石高原町)  
 ◆体高:144.2cm(19ヵ月)



**プロフィール**  
 「沖茂金波」と高等登録牛「たかつたはる2」との交配で造成しました。全兄弟牛(去勢、23ヵ月齢)が、枝肉重量462.8kg、ロース芯面積94cm<sup>2</sup>、歩留基準値80.5%、BMS12と好成績を残しています。本牛の体型では、伸び、品位、資質が優れています。

- 沖茂金波** 黒原4585(82.6) [広島・庄原]
- 茂波(事業団)** 黒原3079(82.9) [鳥取・鳥取]
- 茂重波** 黒高634(80.3) [兵庫・美方]
- 茂金波** しげみつ 菊照土井 しげひめ
- やえこ3** 黒原809358(81.4) [兵庫・美方]
- 初代14** 黒原156(84.0) [広島・神石]
- 乙社6** 黒原13354(80.5) [広島・庄原]
- 第43岩田の14** 黒原13354(80.5) [広島・庄原]
- 第53やまがたや** 黒原13354(80.5) [広島・庄原]
- 第1花園** 黒12510(82.8) [青森・つが]
- 北国7の8** 黒原1280419(81.7) [栃木・那須]
- あおはな** 勝忠平 勝忠平 勝忠平
- たかつたはる2** 黒原1683450(83.3) [広島・三次]
- 美国桜** 黒原5204(84.0) [栃木・那須]
- 第1花園** 黒12510(82.8) [青森・つが]
- もとみつ** 黒原1280419(81.7) [栃木・那須]
- 勝忠平** 黒原3800(87.5) [鹿児島・薩摩]
- たかつたはる** 黒原1534062(86.2) [広島・三次]
- 勝忠平** 黒原3800(87.5) [鹿児島・薩摩]
- たかつたはるの1** 黒原1305995(83.3) [広島・庄原]
- 安福165の9** 黒原1305995(83.3) [広島・庄原]
- いとみつ6の1** 黒原1305995(83.3) [広島・庄原]

## 現場後代検定スケジュール

種雄牛名号	現場後代検定スケジュール			
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
山根神竜・波平桜	調整交配	子牛上場	肥育期間	調査牛出荷
芳福照・仁義烏	調整交配	子牛上場	肥育期間	調査牛出荷
花金百合・花峰勝	調整交配	子牛上場	肥育期間	調査牛出荷
神石波・沖福宝	調整交配	子牛上場	肥育期間	調査牛出荷

※「仁義烏」は、全農広島実験牧場を中心に現場後代検定を実施しています。

# 広島血統再構築種雄牛

## 38岩田系

「38岩田系」は、「第3神竜の4」を活用して「烏帽子」と「神竜岩田」の2軸の造成を進めています。

### 仁義烏



第12回全共(鹿児島県開催)第1区(若雄)に出品し、優等賞を受賞しました。現在、現場後代検定を実施しており、令和9年に枝肉成績が判明予定です。



**黒原6527 86.8点**  
 ◆生年月日:令和3年4月6日  
 ◆繁殖者:沖野 徳則氏 (庄原市東城町)  
 ◆生産者:(農)吉浦牧場 (世羅郡世羅町)  
 ◆体型の美点:発育、体積、均称

### 神竜岩田



母の父「沖茂神竜」の母方祖父父牛は「第3神竜の4」で、父母両方から38岩田系を色濃く受継いでいます。本牛は性質温順で、種牛性に優れています。



**黒16166 85.8点**  
 ◆生年月日:令和5年6月17日  
 ◆繁殖者:広島県立西条農業高校 (東広島市西条町)  
 ◆体型の美点:均称、品位、資質

**第13回全国和牛能力共進会 第1区(若雄)出品に向けた取組み**  
 前々回大会(第11回)から、第1区(若雄)については、広島血統再構築の取組みとその成果を全国にPRするため、38岩田系の種雄牛を出品しています。令和9年に開催される次回大会では、「仁義烏」と「神竜岩田」による出品候補牛造成に取組んでいます。

## 横利系

「横利系」は、始祖牛「第2横利」を活用して造成を進めています。神石牛のブランド力強化に向けて、神石郡神石高原町を中心に取組んでいます。

### 横神富士



「横神利」と神石地域を代表する雌の系統である「じんてつ系」の雌牛との交配により造成しました。



**SD+**  
 ◆生年月日:令和6年12月9日  
 ◆繁殖者:広島系統牛保存センター (神石郡神石高原町)  
 ◆生産者:合同会社 神龍ファーム (神石郡神石高原町)  
 ◆体系の美点:体上線、体伸、資質

## 茂金系 (広島波)

「茂金系(広島波)」は、兵庫県あつた葛との系統間交配により生産した「乙社6」の息子牛で、県下全域で改良に貢献した「9中丸」を活用して造成をしました。

### 帝釈丸



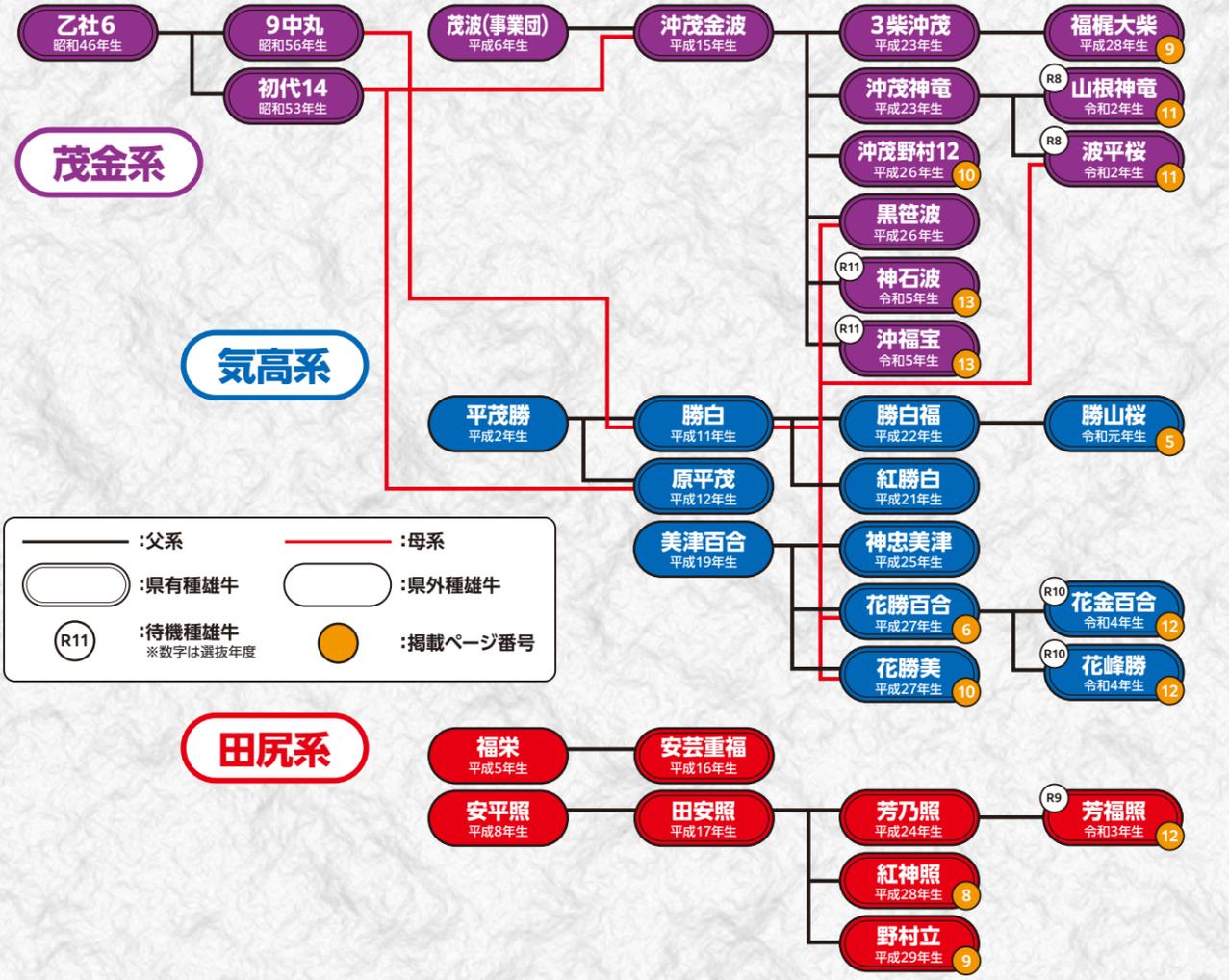
本牛は、県有種雄牛「芳乃照」や(一社)家畜改良事業団「美津百合」の異父兄弟です。



**よしの1** 黒原1234466(81.0) (広島・庄原)  
**美津福** 黒原2748(83.3) (兵庫・美方)  
**91やすひろ** 黒原46768(82.2) (広島・庄原)

	頭数	出荷月齢	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm)	バラの厚さ (cm)	推定歩留 (%)	BMS No.
去勢	85	28.2	475	64	7.8	74.9	8.0
雌	76	27.7	426	61	7.7	73.9	7.5
全体	161	28.0	452	63	7.8	74.4	7.7

# 系統図



# 基幹種雄牛一覧

選抜年度	名号	血統			推定能力(R6後期育種価)							遺伝病
		父	母方祖父	母方曾祖父	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMS No.	MUFA	
H30	芳乃照	田安照	美津福	9中丸	368.4	64.3	6.9	1.9	76.1	10.72	59.9	-
R1	神忠美津	美津百合	勝忠平	北国7の8	495.9	55.7	7.7	3.0	72.9	8.17	60.2	-
R2	黒笹波	沖茂金波	勝白	美津福	436.1	59.6	7.6	2.2	74.9	8.74	61.2	-
	花勝美	美津百合	勝白	福栄	499.5	61.3	8.5	3.0	74.2	9.76	56.3	-
R3	花勝百合	美津百合	勝白	福栄	511.0	65.7	8.0	2.2	74.9	10.75	60.0	-
	沖茂野村12	沖茂金波	糸福(鹿児島)	美津福	370.7	62.7	8.0	2.6	76.0	10.63	58.6	-
R4	福樞大柴	3柴沖茂	勝忠平	安福165の9	447.9	59.5	7.7	3.3	73.8	9.23	59.7	-
R5	紅神照	田安照	百合茂	平茂勝	457.3	68.6	7.6	2.3	75.7	9.45	59.0	-
R6	野村立	田安照	百合茂	平茂勝	447.9	62.2	7.2	2.4	74.6	9.75	60.4	-
R7	勝山桜	勝白福	美国桜	勝白	479.6	70.2	7.3	1.9	75.8	11.36	51.6	SD

【推定能力の表示について】「基幹種雄牛一覧」内における順位が「第1位」のものを「赤字かつ太字」、「第2~3位」のものを「赤字」で表示しています。  
 【遺伝子型検査結果(遺伝病)について】「-」:すべての項目においてフリー、「SD」:骨格粗大症保因

# 広島血統再構築種雄牛の系統図

